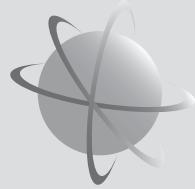


# JGA NEWS



2011年(平成23年)12月 44号

## CONTENTS

---

### ・トピックス

後発医薬品促進策の論点提示、一般名処方促進など ..... 1

### ・委員会活動

流通適正化委員会 ..... 3

### ・リレー隨想（岩佐 孝） ..... 12

### ・お知らせ

長崎県ジェネリック医薬品使用促進研修会 ..... 14

第53回全日本病院学会 ..... 14

第51回北陸信越薬剤師大会 ..... 15

第73回九州山口薬学大会 ..... 16

年末年始の休みについて ..... 17

平成24年新年賀詞交歓会の開催について ..... 17

### ・賛助会員から

瀧谷工業株式会社 ..... 18

### ・活動案内 ..... 19

### ・別紙（薬価委員会「後発医薬品等の薬価基準収載について」）

---



## 後発医薬品促進策の論点提示、一般名処方促進など

次期診療報酬改定や調剤報酬改定に向け、厚生労働省が11月9日の中医協総会に、後発医薬品使用促進策の追加や見直しに関する論点を示した。論点には一般名処方促進や、「後発医薬品調剤体制加算」や処方せん様式の「変更不可」欄の見直しなどが盛りこまれている。ただ診療側委員が後発医薬品の品質確保が先決と主張したほか、支払い側委員から使用促進策の財政効果を検証するよう求める声が上がったため、同日の会合では個別論点に関する踏み込んだ議論は行われなかった。次回以降の会合で具体的な議論が行われる。

厚労省は2012年度までに後発医薬品の数量シェアを30%以上に拡大する目標を達成するため、前回改定で後発医薬品調剤体制加算の見直しなど各種施策を打ち出した。一定の効果はあったものの、今年3月時点で数量シェアが22.4%にとどまるなど後発医薬品使用は伸び悩んでいる。そのため次期改定に向け、後発医薬品使用促進策の追加や見直しを検討する。

追加施策としては、中医協・診療報酬改定結果検証部会の調査で医師が後発医薬品処方を進めるための要件に「一般名処方の環境整備」を、薬局が後発医薬品への変更を進めるための要件に「一般名処方の普及」を挙げていたことを踏まえ、一般名処方を促進する方策を検討する。診療報酬上の評価も議論の遡上にあがる可能性がある。

また保険者が行っている先発医薬品から後発医薬品に切り替えた場合の自己負担額の「差額通知」が後発医薬品使用促進に効果を挙げていることから、薬局の現場でも薬剤情報提供文書を活用し差額に関する情報提供が行われる仕組みを検討する。

既存施策の見直しでは、前回改定で数量ベース・3段階（後発医薬品調剤割合20%以上、25%以上、30%以上）で評価する形に見直した「後発医薬品調剤体制加算」のさらなる見直しを議論する。厚労省は、後発医薬品調剤がさらに進むよう、20%以上の加算を残しつつ、25%以上と30%以上の加算の算定要件

(後発医薬品調剤割合)を引き上げることを提案している。20%以上の加算については薬剤師代表委員が存続を訴えているのに対し、支払い側委員は廃止を求めている。

また、医療機関の後発医薬品使用に関する取り組みを評価するため前回改定で新設した「後発医薬品使用体制加算」の見直しも議論の遡上にあがっている。同加算は、後発医薬品採用品目数の割合が20%以上などの要件を満たす場合に入院基本料に上乗せするもの。同加算の算定が少ない状況を踏まえ、▽算定要件を複数の段階で評価する形に改める▽算定要件を後発医薬品使用割合に変更する—などの見直しを議論する。

処方せん様式の「変更不可」欄の見直しも論点に位置づけられている。現行では、「すべて変更不可」の欄があるが、一部医薬品だけが不可であるにもかかわらず、すべて変更不可としているケースも少なくない。そのためドイツ様式を参考にして、個別医薬品ごとに変更可否を明示する様式に変更することなどを検討する。

委員会だより

## 流通適正化委員会

# 平成22年度流通体制に関するアンケート調査結果

平成22年度、診療報酬が改定され、後発医薬品の使用促進は数量ベースで、30%という目標に向かって大きく伸張しつつあります。

しかしながら、「後発医薬品の安心使用促進アクションプログラム」の目標に示された、安定供給という面からは、まだまだ課題が残されています。

流通適正化委員会におきましては、安定供給を含めた医療用医薬品の流通の透明化を図るべく、今年度の事業方針の一環として、例年のごとく「流通体制に関するアンケート調査」を実施致しました。

今回のアンケートは、昨年度の実態調査結果であり、診療報酬改定における後発医薬品使用促進策の影響が見られる結果となりました。後発医薬品の適正使用の促進、ならびに普及の一助になればと考え、ご報告致します。

### 《アンケート調査の概要》

調査方法	会員会社への郵送による聞き取り調査
調査期間	平成22年4月1日～平成23年3月31日
調査期日	平成23年8月19日
回答会社	44社中43社（回答率：97.7%）

### ----- 調査結果 -----

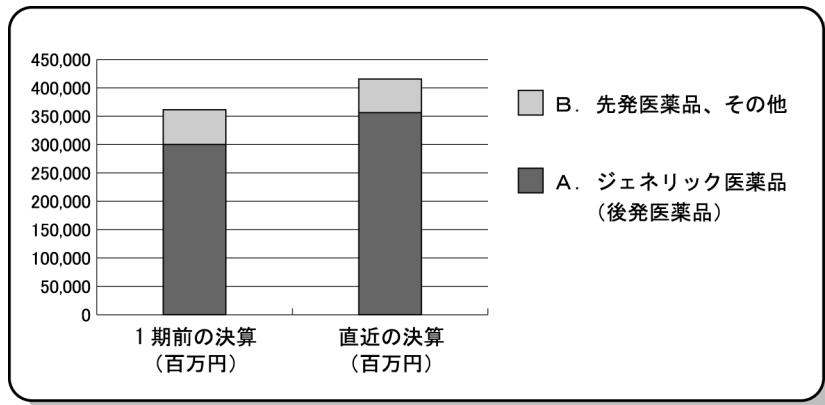
#### 流通適正化委員会アンケート

##### 【質問1】御社の医療用医薬品の販売金額と構成比をご記入下さい。

- 対象品目は承認品目とし、販売のみの製品は除いて下さい。また、原薬の販売や受託加工費は含めず、あくまでも医療用医薬品の最終製品の売上高のみをご記入下さい。
- 「A. ジェネリック医薬品（後発医薬品）」は、診療報酬上の後発医薬品、その他の後発医薬品（日本薬局方医薬品、漢方製剤・生薬・生物学的製剤（血液製剤・ワクチン等）及び昭和42年9月末日以前承認品目）を対象として下さい。
- 「B. 先発医薬品、その他」については、上記に該当しない医療用医薬品の売上をご記入下さい。

	1期前の決算 (百万円)	構成比(%)	直近の決算 (百万円)	構成比(%)	前期比
A. ジェネリック医薬品 (後発医薬品)	300,073	82%	356,305	85%	119%
B. 先発医薬品、その他	61,292	17%	59,377	14%	97%
未分類	5,814		5,567		96%
医療用医薬品 合計	367,179	100%	421,249	100%	115%

有効回答：43社（未回答1社）－内訳未回答1社を含む



医療用医薬品の売上規模	1期前の決算	直近の決算
500億円超	0	2
400億～500億円	2	1
300億～400億円	2	2
200億～300億円	1	0
150億～200億円	0	2
100億～150億円	5	5
50億～100億円	11	10
25億～50億円	9	9
25億円未満	13	12
未回答	1	1
	44	44

GE医薬品の売上規模	1期前の決算	直近の決算
500億円超	0	1
400億～500億円	1	2
300億～400億円	2	1
200億～300億円	1	0
150億～200億円	0	2
100億～150億円	6	6
50億～100億円	5	6
25億～50億円	10	8
25億円未満	18	17
未回答	1	1
	44	44

### 【コメント】

日本ジェネリック製薬協会加盟44社中、回答のあった43社の自社承認の医療用医薬品の売上は4,212億円で、前年比+15%であった。

医療用医薬品の売り上げで500億円超の会社が2社となった。また、150億円以下の会社に大きな変化はなく、比較的規模の大きい会社に伸長が見られた。

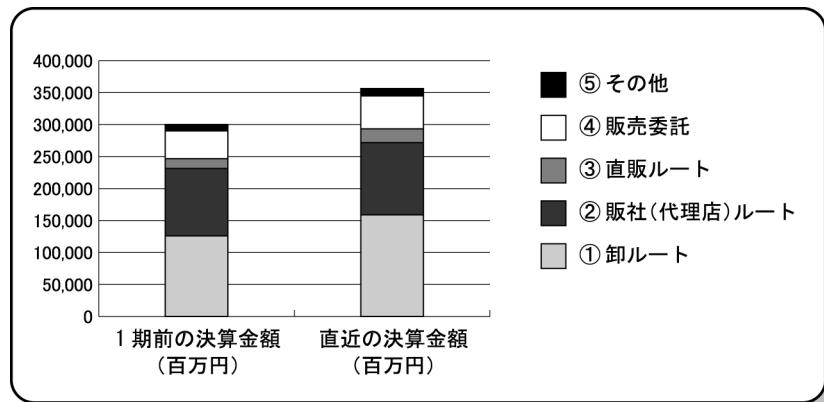
ジェネリック医薬品においては、前年比で+19%であり、ジェネリック医薬品の売上のみで500億円超の会社が1社、400～500億円の会社が2社となった。

### 【質問2】質問1の「A. ジェネリック医薬品（後発医薬品）」について、ルート別年間売上（単位：百万円）と構成比をご記入下さい。

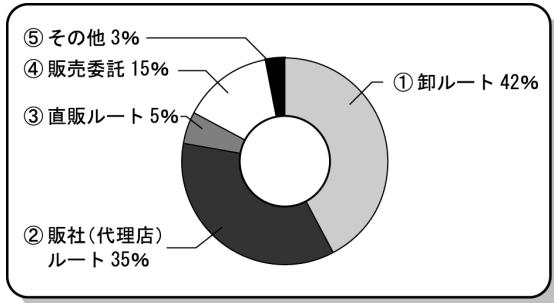
○「A. ジェネリック医薬品（後発医薬品）」の金額が、以下の合計と等しくなるよう記載下さい。

	1期前の決算金額(百万円)	構成比(%)	直近の決算金額(百万円)	構成比(%)	前期比
①卸ルート	125,981	42%	158,796	45%	126%
②販社(代理店)ルート	105,380	35%	112,984	32%	107%
③直販ルート	15,266	5%	21,668	6%	142%
小計(①+②+③)	246,627	82%	293,448	82%	119%
④販売委託	43,425	14%	51,285	14%	118%
⑤その他	10,158	3%	11,547	3%	114%
販売ルート合計 (①+②+③+④+⑤)	300,211	100%	356,280	100%	119%

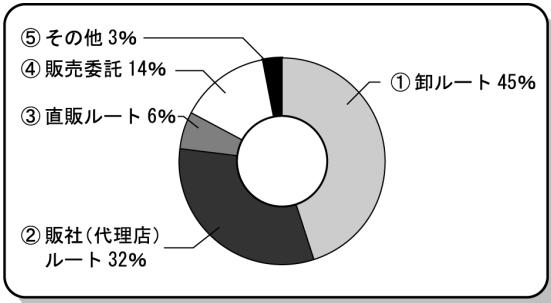
有効回答：42社（未回答2社）



1期前の決算



直近の決算



### 【コメント】

販売ルート別に後発医薬品の売上を検証すると、すべての販売ルートが伸長する中で、卸ルートの伸びが約330億円 (+26%) と売上を大きく伸ばした。

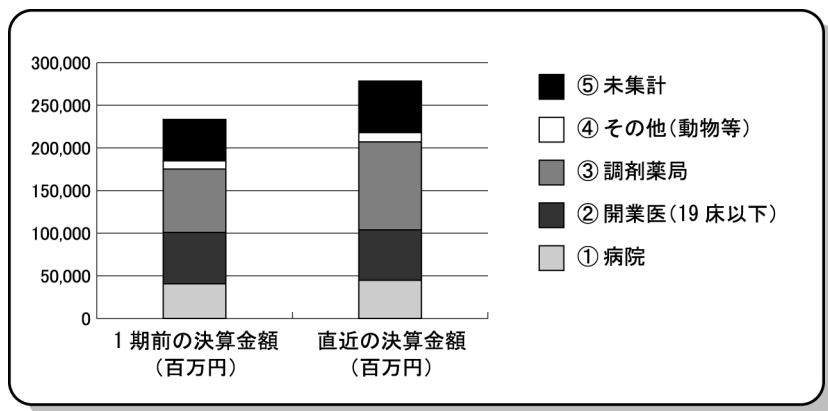
構成比では、ジェネリック医薬品流通の45%を卸ルートが占めている。

### 【質問3】施設別取引高と構成比をご記入ください。（＊質問2で①～③に売上があった会社のみ）

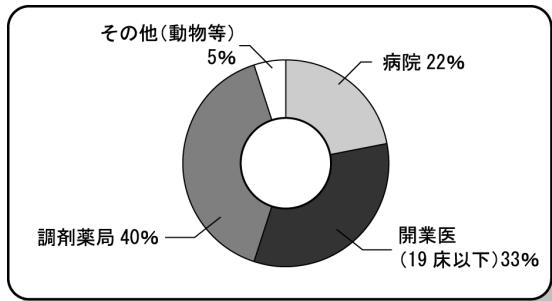
- 各社で把握しているもののみを記載して下さい（電子化データ未入手などの理由により集計ができない場合は「未集計」に記載下さい）。
- 病院の売上（①200床以上／②199床以下）については、任意の記載事項とさせていただきます。
- 質問2の「小計」が、以下の「医療機関 合計」と等しくなるよう記載下さい。

	1期前の決算 金額(百万円)	構成比(%)	直近の決算 金額(百万円)	構成比(%)	前年比
病院	40,688	22%	44,749	21%	110%
病院①(200床以上)	18,335	10%	21,167	10%	115%
病院②(199床以下)	13,689	7%	13,707	6%	100%
開業医(19床以下)	60,267	33%	59,089	27%	98%
調剤薬局	74,315	40%	103,113	47%	139%
その他(動物等)	9,592	5%	10,959	5%	114%
医療機関 合計	184,862	100%	217,910	100%	118%
*未集計	48,511		60,420		125%
合計	233,373		278,330		119%

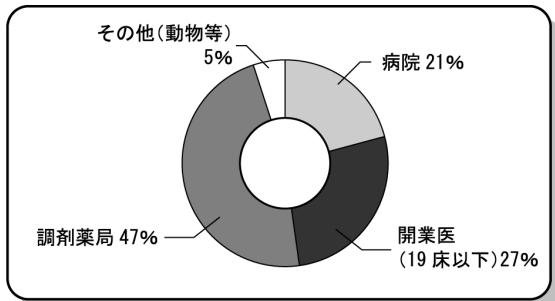
有効回答社数：31社（回答のあった、自販しているメーカー）



1期前の決算



直近の決算



### 【コメント】

調剤薬局の売上が+39%と大きく伸長した。平成22年度診療報酬改定における後発医薬品促進策の影響によるものと考察する。

また、病院では200床以上の基幹病院での伸び率(+15%)が200床未満の伸び率(±0%)を大きく上回った。DPCの導入によるコスト意識の変化が影響していると考察する。

開診市場においては、前年の売上を下回る結果となった。医薬分業の進展、薬価改定の影響と考察する。

**【質問4】ジェネリック医薬品の全国供給状況についてお伺いします。医療機関・調剤薬局等から卸・販社に注文があった場合の納品の可否、納品までの日数についてご記入下さい。（＊質問2で①～③に売上があった会社のみ）**

- 卸／販社に在庫があるケースと、卸／販社に在庫がなく御社の物流拠点より発送する最短のケースの双方についてお答え下さい。
- 納品先は、各都道府県の県庁所在地を基準として下さい。
  - 1－当日中に指定の医療機関・調剤薬局に供給できる
  - 2－当日は無理だが翌日には供給できる
  - 3－3日以内に供給できる
  - 4－4日以内に供給できる
  - 5－それ以上の時間を要する
  - ×－供給できない

県名	卸の有無 (34社中)	販社の有無 (21社中)	流通なし	カバー率 (34社中)		卸の有無	販社の有無	流通なし	カバー率
						三重県	31	17	97%
北海道	33	18	0	100%	滋賀県	31	13	1	97%
青森県	31	17	0	100%	京都府	31	16	0	100%
岩手県	31	19	0	100%	大阪府	33	20	0	100%
宮城県	32	18	0	100%	兵庫県	33	18	0	100%
秋田県	32	18	0	100%	奈良県	31	12	1	97%
山形県	32	19	0	100%	和歌山県	31	16	0	100%
福島県	32	17	0	100%	鳥取県	31	17	1	97%
茨城県	32	17	0	100%	島根県	31	9	1	97%
栃木県	32	15	0	100%	岡山県	32	19	0	100%
群馬県	32	18	0	100%	広島県	32	17	0	100%
埼玉県	32	18	0	100%	山口県	32	17	0	100%
千葉県	32	18	0	100%	徳島県	31	14	1	97%
東京都	33	19	0	100%	香川県	31	12	1	97%
神奈川県	32	18	0	100%	愛媛県	31	17	0	100%
新潟県	32	14	0	100%	高知県	31	15	1	97%
富山県	31	18	0	100%	福岡県	33	20	0	100%
石川県	31	15	0	100%	佐賀県	32	17	0	100%
福井県	31	15	0	100%	長崎県	32	16	0	100%
山梨県	31	16	1	97%	熊本県	32	19	0	100%
長野県	31	18	1	97%	大分県	32	17	0	100%
岐阜県	31	17	2	94%	宮崎県	32	17	0	100%
静岡県	31	17	1	97%	鹿児島県	32	18	0	100%
愛知県	32	19	1	97%	沖縄県	32	18	0	100%

有効回答数：33社

県名	流通在庫あり						流通在庫なし					
	1	2	3	4	5	×	1	2	3	4	5	×
北海道	34	0	0	0	0	0	0	10	22	1	0	0
青森県	33	1	0	0	0	0	0	21	12	0	0	0
岩手県	33	1	0	0	0	0	0	23	10	0	0	0
宮城県	34	0	0	0	0	0	1	24	8	0	0	0
秋田県	33	1	0	0	0	0	1	24	10	0	0	0
山形県	33	1	0	0	0	0	1	23	9	0	0	0
福島県	33	1	0	0	0	0	1	24	8	0	0	0
茨城県	33	1	0	0	0	0	0	26	7	0	0	0
栃木県	33	1	0	0	0	0	0	26	7	0	0	0
群馬県	33	1	0	0	0	0	0	26	7	0	0	0
埼玉県	33	1	0	0	0	0	1	25	7	0	0	0
千葉県	33	1	0	0	0	0	1	25	7	0	0	0
東京都	33	1	0	0	0	0	2	24	7	0	0	0
神奈川県	33	1	0	0	0	0	1	25	7	0	0	0
新潟県	33	1	0	0	0	0	1	25	7	0	0	0
富山県	33	1	0	0	0	0	0	27	6	0	0	0
石川県	34	0	0	0	0	0	0	27	6	0	0	0
福井県	34	0	0	0	0	0	0	27	6	0	0	0
山梨県	33	1	0	0	0	0	0	26	7	0	0	0
長野県	33	1	0	0	0	0	0	27	6	0	0	0
岐阜県	33	1	0	0	0	0	0	26	7	0	0	0
静岡県	33	1	0	0	0	0	0	26	7	0	0	0
愛知県	33	1	0	0	0	0	0	26	7	0	0	0
三重県	34	0	0	0	0	0	0	26	7	0	0	0
滋賀県	33	1	0	0	0	0	0	25	8	0	0	0
京都府	33	1	0	0	0	0	0	26	7	0	0	0
大阪府	33	0	0	0	0	0	0	26	7	0	0	0
兵庫県	33	1	0	0	0	0	0	26	7	0	0	0
奈良県	33	1	0	0	0	0	0	26	7	0	0	0
和歌山県	33	1	0	0	0	0	0	26	7	0	0	0
鳥取県	33	1	0	0	0	0	0	22	11	0	0	0
島根県	33	1	0	0	0	0	0	22	11	0	0	0
岡山県	33	1	0	0	0	0	0	22	11	0	0	0
広島県	33	1	0	0	0	0	0	22	11	0	0	0
山口県	33	1	0	0	0	0	0	21	12	0	0	0
徳島県	33	1	0	0	0	0	0	22	11	0	0	0
香川県	33	1	0	0	0	0	0	23	10	0	0	0
愛媛県	33	1	0	0	0	0	0	22	11	0	0	0
高知県	33	1	0	0	0	0	0	22	11	0	0	0
福岡県	33	1	0	0	0	0	0	16	17	0	0	0
佐賀県	33	1	0	0	0	0	0	13	20	0	0	0
長崎県	33	1	0	0	0	0	0	12	21	0	0	0
熊本県	33	1	0	0	0	0	0	13	20	0	0	0
大分県	33	1	0	0	0	0	0	13	20	0	0	0
宮崎県	33	1	0	0	0	0	0	13	20	0	0	0
鹿児島県	34	0	0	0	0	0	0	12	21	0	0	0
沖縄県	33	1	0	0	0	0	0	8	24	0	1	0

### 【コメント】

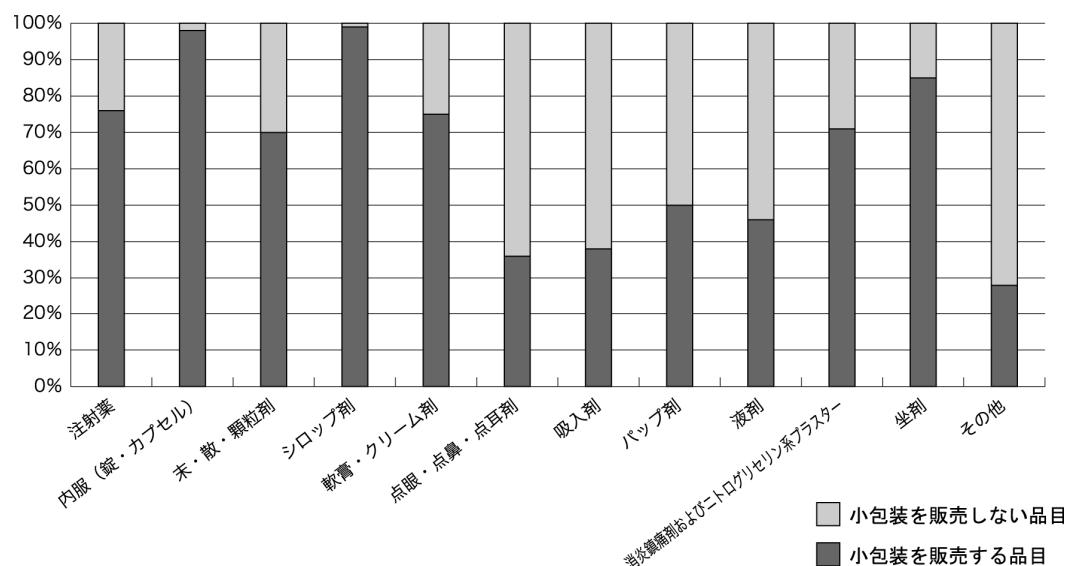
都道府県の流通チャネルにおいては、昨年の調査時と大きな差はなく、ほぼすべての会員会社が各都道府県に流通拠点を確保しており、仮に流通拠点がない都道府県を含めて供給不可能な地域がないことが確認できた。

また、供給にかかる日数については、流通在庫がある場合はほぼ当日中に、また流通在庫がない場合でも、特殊事情（＊商品が危険物であり空輸できない）を除く、ほとんどの地域で3日以内の供給が可能であることが確認された。

### 【質問5】御社のジェネリック医薬品について、品目数と小包装の有無の比率をご記入下さい。

	小包装単位	製造販売品目数 -①	小包装を販売す る品目数-②	小包装の品揃率 -②/①
注射薬	10管(瓶)	1,021	771	76%
内服(錠・カプセル)	100錠(cp)	3,371	3,298	98%
末・散・顆粒剤	100g	569	396	70%
シロップ剤	500mL	88	87	99%
軟膏・クリーム剤	10本	198	149	75%
点眼・点鼻・点耳剤	5本	170	61	36%
吸入剤	5本	8	3	38%
パック剤	1kg	20	10	50%
液剤	100mL	129	59	46%
消炎鎮痛剤およびニトログリセリン系プラスター	50個	7	5	71%
坐剤	50個	59	50	85%
その他		71	20	28%
合計		5,711	4,909	86%

有効回答：41社（未回答3社）



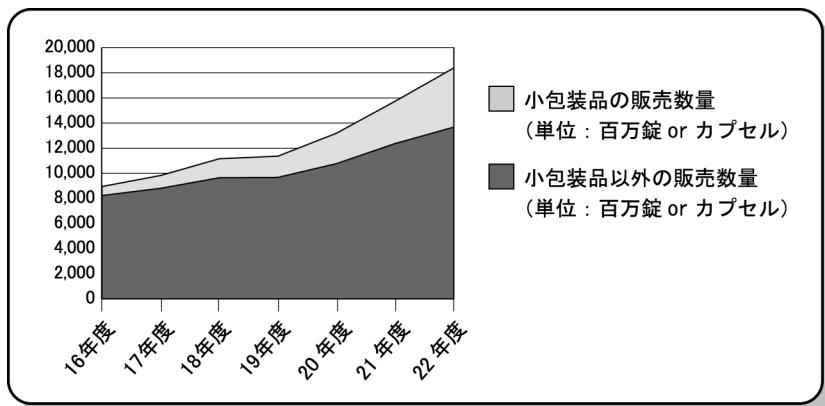
### 【コメント】

小包装について、内服固形剤（錠剤、カプセル剤）については、依然として、98%と高い割合で小包装を具備している。また、注射剤の10管包装や末・散・顆粒剤の100g 包装など、昨年の調査結果と比較して、全体的に小包装の品揃率の改善傾向が見られた。

**【質問6】** 小包装の率が増加し、各社製造コストがUPしていることと思われます。御社のジェネリック医薬品の錠剤、カプセル剤の全製品について、平成14年度以降の決算における全販売数量と小包装の販売数量、小包装の販売比率をご記入下さい。

	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
全製品の販売数量 (単位:百万錠 or カプセル)	8,947	9,824	11,156	11,361	13,190	15,735	18,380
小包装品の販売数量 (単位:百万錠 or カプセル)	719	1,020	1,512	1,690	2,421	3,368	4,708
小包装品の販売比率(%)	8%	10%	14%	15%	18%	21%	26%

有効回答社数：28社（7年分のデータがある会社限定）



### 【コメント】

直近のジェネリック医薬品の小包装の販売比率は26%（販売錠数ベース）であり、過去7年で6.5倍の伸びとなっている。調剤薬局でのジェネリック医薬品の増加に比例して増加していると考察できる。



## リレー隨想

## バスケットボールのこと

メディサ新薬株式会社

代表取締役社長 岩佐 孝

先日母校の大学の後輩のバスケットボールの試合を見に行きました。4部から3部への入れ替え戦でしたが、あまり期待をしておりませんでした。というのも夏頃までは試合を見に行っても、それほど実力が違わないのに勝てないという状況が続いていたからです。昨年も入れ替え戦に出たのですが、それまでの試合では勝っていた相手に完璧にやられたということもありました。あまりに情けない試合内容でしたので、OBとしてのコメントも言わず会場を後にしました。裸足で走ってきてコメントを求めてきたキャプテンの情けない顔を今でも思い出します。

ところが当日、いざ試合が始まると、これが同じチームかと思うほど変身しておりました。ディフェンス時も相手にプレッシャーをかけ、リバウンドにも積極的に飛び込み、パスを回そうとするのではなく、自らが積極的にシュートをするという風に、勝負に対する執着心が強く表っていました。結果はダブルスコアで勝利し、3部昇格を決めることができました。昨年コーチをした後輩は、自分が育てた3年生が活躍し、昨年の入れ替え戦で完敗したトラウマから解放され、挨拶するときは涙ぐんでおりました。

40年ほど前のわたくしの学生時代は、ちょうど京都産業大学にバスケットボール部が創設され、実力は1部でも、部制だと1部に昇格するまで何年もかかるということで、関西地区を8ブロックに分け、その上位2チームが争うエイトリーグが導入された時でした。籠運も良かったのか上位2校に残ることができました。大学からバスケットを始めた私としては、試合に出ることはかないませんでしたが、1部リーグの雰囲気に浸ることはできました。更衣室で同志社大学と一緒にになり、自分の目の前に他人の尻が見えるという不思議な体験もしました。松下電器（その当時）に行った沼田選手でした。コートを7～8

歩で往復する大阪商業大学の岡山選手にも驚きました。強いチームと試合することができれば、強くなれます。勝てないまでも少しでも点差を縮めるため、いろいろと工夫もし、トレーニングも目的を持ってやることができ、厳しい練習にも耐えることができます。エイトリーグで揉まれたことで、母校はしばらくの間はエイトリーグに留まることができました。

その後また部制が導入され、2部になり、3部A、3部B、となり最近では4部に降格してしまっていたのです。OB連中も強い時代のことを覚えている者ほど、体育会のクラブで、なぜ同好会のような4部にまで降格してしまったのかとストレスを溜めておりました。わたくしも毎年1月頃には新年会と称して、新4年生を自宅に呼び、酒を飲みながら、今年こそは昇格するぞと盛り上げておりましたが、昇格するどころか降格する一方で、もう新年会も止めようとも思っておりました。ところが彼らはやってくれたのです。その日はビアホールで若いOBから年を食ったOBまでうまいビールに酔いしました。

40年ほど前は70Kgであった私の体もスラムダンクの安西監督のようになり、短かったユニフォームのパンツも、マイケルジョーダンの活躍以降、皆がまねて長くなり、プレー時間も20分ハーフが10分クォーターになりという風に大きく変わりましたが、今でもその当時の仲間と付き合っております。OBも「銀筆クラブ」というクラブチームを作り大阪府のクラブチームリーグ戦等で活動しており、わたくしが監督ということになっております。試合の監督というよりは試合の後のビールの監督といった方が適切な気も致します。もっともリーグのポジションは3部ですが。

組織の風土を変えるということは大変なことですが、皆が同じ目的意識を持って努力すれば変えることは可能であることを後輩に教えてもらった1日でもありました。4年生が大学院の入試等でほとんどが練習に来ることができず、残った3年生以下が、次期キャプテンのもと何かをきっかけに変わったのだと思います。危機感の共有とエンジニアリングリーダーの大切さも教えられました。

現役もOBもそれぞれ2部を目指して共に頑張るということで、今後もバスケットボールとの付き合いは長く続していくと思っております。

次号は、吉田製薬(株)の吉田社長にお願いします。

## お知らせ

### ☆ 長崎県ジェネリック医薬品使用促進研修会

長崎県及び長崎県ジェネリック医薬品使用促進協議会の主催により、2011年11月8日(火)に長崎県医師会館(長崎市)、および9日(水)に対馬市交流センター(対馬市)において開催されました。今回は、医師、歯科医師および薬剤師を対象とし、長崎市では約60名、対馬市では約40名の参加がありました。内容としては、当協会から「日本ジェネリック製薬協会の活動について」を説明した後に、明治薬科大学名誉教授の緒方宏泰先生による「ジェネリック医薬品の同等性の考え方」の講演がありました。質疑応答は、BE試験に関する専門的な事項、GE品の安定供給、効能効果違い等について活発に行われました。

なお、研修会の冒頭、長崎県の方から2011年6月末における長崎県のGE品シェアは27.9%であると紹介がありました。

### ☆ 第53回全日本病院学会

2011年10月29日(土)～30日(日)の二日間、沖縄コンベンションセンター(沖縄県宜野湾市真志喜4-3-1)で開催されました「第53回全日本病院学会」にて、当協会が展示ブースを出展いたしました。

なお、展示ブースでの対応者は約400名で、無事盛会のうちに終了いたしました。

ご協力いただきました運営実施委員の皆様には、この場をお借りいたしましてお礼申し上げます。



## ☆ 第51回北陸信越薬剤師大会

2011年11月5日（土）名鉄トヤマホテル（富山県富山市桜橋通り2-28）で開催されました「第51回北陸信越薬剤師大会」にて、当協会がシンポジウムを以下のとおり共催いたしました。



### ○シンポジウム

#### 基調講演

演題：「なぜ、今ジェネリック医薬品か」

－持続可能な医療保険制度を目指して、薬剤師の役割－

講師：山村真一 先生（一般社団法人保険薬局経営者連合会 会長）

座長：岸田修一 先生（北海道薬科大学客員教授、岐阜薬科大学客員教授）

#### パネルディスカッション

座長：岸田修一 先生（北海道薬科大学客員教授、岐阜薬科大学客員教授）

パネリスト：山村真一 先生（一般社団法人保険薬局経営者連合会 会長）

松野 強 先生（厚生労働省経済課後発医薬品使用促進専門官）

新山雅夫 先生（富山大学大学院医学薬学研究部（薬学） 特命教授）

小林宏希 先生（GE薬協 信頼性向上プロジェクト情報提供担当リーダー）

なお、シンポジウム来場者は約300人で、無事盛会のうちに終了いたしました。

ご協力いただきました運営実施委員の皆様には、この場をお借りいたしましてお礼申し上げます。

## ☆ 第73回九州山口薬学大会

2011年11月12日（土）沖縄コンベンションセンター（沖縄県宜野湾市真志喜4-3-1）で開催されました「第73回九州山口薬学大会」にて、当協会が教育セミナーを以下のとおり共催いたしました。



### ○教育セミナーⅠ

演題：「ジェネリック医薬品を基礎から考える」

講師：緒方宏泰 先生（明治薬科大学 名誉教授）

座長：田場英治 先生（沖縄県立中部病院 薬局長）

### ○教育セミナーⅡ

演題：「医事紛争に備えて～薬剤師としてのリスクマネジメント～」

講師：棚瀬慎治 先生（棚瀬法律事務所 代表弁護士）

座長：山城志津 先生（沖縄県薬剤師会 理事）

なお、セミナー来場者は約300人で、無事盛会のうちに終了いたしました。

また、併せまして当学会にて展示ブースも出展いたしました。展示ブースでの対応者は約250名で、こちらも無事盛会のうちに終了いたしました。



ご協力いただきました運営実施委員の皆様には、この場をお借りいたしましてお礼申し上げます。

☆ 年末年始の休みについて

下記のとおり、事務局を閉所いたしますのでご協力のほどお願い申し上げます。

記

平成23年12月29日(木)～平成24年1月3日(火)

☆ 平成24年新年賀詞交歓会の開催について

下記のとおり開催いたしますのでお知らせ致します。

日時：平成24年1月26日(木)

講演会 16：15～17：30

講師：厚生労働省医政局経済課 鎌田光明 課長

祝賀会 17：45～19：30

場所：東京プリンスホテル2F 「プロビデンスホール」

港区芝公園3-3-1 TEL：03-3432-1111

• 賛助会員から  
澁谷工業株式会社

## 製薬設備システムの 総合サプライヤー

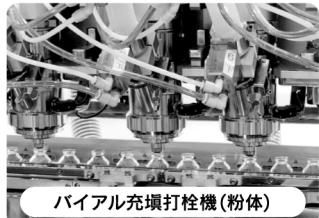
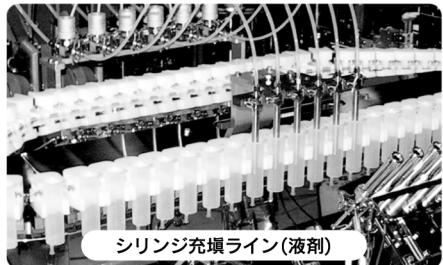
*Shibuya*

シブヤは、GMPに適合した充填システム、滅菌システム、アイソレータ、液剤調製設備のほか、ロボットによる独自のハンドリング技術や、各種検査機器、バリデーション、生産管理システムなど、豊富な製品・システムで様々なニーズに対応しています。

### 充填システム

シリンジやアンプル、バイアル、点眼剤など様々な包装形態に応じて、洗浄機から充填、包装までのトータルラインを構築します。

- シリンジ充填ライン
- アンプル充填ライン
- バイアル充填ライン
- 治験薬用アンプル・バイアル兼用充填ライン
- ソフトバッグ充填ライン
- 点眼剤充填ライン



### 滅菌システム&アイソレータ



### シブヤの製薬設備システム

- |                       |                   |
|-----------------------|-------------------|
| ■ 液剤充填ライン             | ■ 固形剤包装ライン        |
| ・バイアル充填ライン、アンプル充填ライン  | ・プリスター包装ライン       |
| ・治験薬用アンプル・バイアル兼用充填ライン | ・鋳剤/カプセル包装ライン     |
| ・シリンジ充填ライン            | ・外用剤包装ライン         |
| ■ 粉末充填ライン             | ■ 滅菌システム ■ アイソレータ |
| ■ 細胞培養システム ■ バイオ関連製品  | ■ 調製設備 ■ バリデーション  |
| ■ ワクチン製造システム          | ■ 1t コンテナ洗浄システム   |

### 世界のトップを走る技術のシブヤ

 澁谷工業株式会社

製薬設備営業本部  
本社営業部 〒920-8681 金沢市大豆田本町 TEL076-262-1202  
東京営業部 〒161-0031 新宿区西落合1-20-14 TEL03-3950-2112  
関西営業部 〒662-0927 西宮市久保町10-6 TEL0798-33-4131



## &lt;日誌&gt;

11月 8日	総務部会	日本ジェネリック製薬協会会議室
11月 17日	常任理事会・理事会	"
11月 18日	製剤研究会	ベルサール丸の内
11月 24日	薬制委員会	東京八重洲ホール会議室
11月 25日	薬価委員会	"
11月 28日	薬事関連連絡会	日本ジェネリック製薬協会会議室
11月 29日	くすり相談委員会	"

## &lt;今月の予定&gt;

12月 8日	透明性ガイドライン等説明会	ベルサール八重洲
12月 9日	総務部会	日本ジェネリック製薬協会会議室
"	環境委員会	東京八重洲ホール会議室
12月 14日	薬制委員会通知検討部会	日本ジェネリック製薬協会会議室
12月 15日	流通適正化委員会	東京八重洲ホール会議室
12月 19日	薬事関連連絡会	"
12月 20日	信頼性向上プロジェクト全体会議	ベルサール八重洲

### /編/集/後/記/

立冬が過ぎても東京では、例年より暖かい日が多いようです。

それにもかかわらず我が家の猫は、ベッドにもぐりこみ頭を枕にのせて、まるでヒトのように寝ています。この猫は、3代目で初めてのオスの黒毛で名前をリゲルといいます。なかなかハンサムですが、慢性副鼻腔炎で涙目、くしゃみを連発しています。

代々、星の名前をつけることにしていて、オリオン座β星からとっています。初代は、白と黒のメス猫で名前は、トラペジウムでした。これもオリオン座のM41星雲の中にある星からとりました。大変利口な猫でしたが、7年程で病没しました。次は、長毛種の遺伝子が混ざった大変かわいいメス猫で16年程生きました。名前は、トラペジウムで、白鳥座のβ星からつけました。二重星で赤と緑の宝石のような星です。

ペットを飼っていると病気になれば、全額自費で動物病院にかけることになりますが負担の重さにびっくりします。ちょっと点滴でもしようものなら数万の覚悟がいります。その度に、日本の皆保険制度の有りがたさと維持の必要性を再認識しています。些少の手助けにと自分の処方薬はジェネリック医薬品にしてもらっています。

しかしながら、短期服用の薬剤は、患者負担が対して変わりませんよと言われて変更できませんでした。今後は、患者負担だけでなく医療財政への貢献というアピールがもっと必要と考えます。 (T.U)

#### ■編 集

日本ジェネリック製薬協会  
総務委員会広報部会

#### ■発 行

日本ジェネリック製薬協会  
〒103-0023 東京都中央区日本橋本町3-3-4  
日本橋本町ビル7F  
TEL:03-3279-1890 FAX:03-3241-2978  
URL:www.jga.gr.jp

## 後発医薬品等の薬価基準収載について

### 1. 収載について

後発医薬品の薬価基準への収載については、昭和62年5月25日中医協建議に基づき定期化され、平成6年度薬価改正以後はその頻度を年1回とした（平成5年11月24日中医協了解事項）。

また、平成19年4月の中医協総会において、平成19年度から後発医薬品の薬価基準への収載頻度を年2回とすることとなった。

### 2. 薬価算定方式

薬価算定は、平成22年2月12日保発0212第1号保険局長通知「薬価算定の基準について」に基づき実施した。

### 3. 収載品目内訳

	品目数					会社数
	内用薬	注射薬	外用薬	歯科用薬剤	合計	
今回収載 後発医薬品等	369	115	37	0	521	72
後発医薬品等 収載後	9,786	4,448	2,923	36	17,193	

### 4. 最近の収載状況

収載年月日 (告示年月日)	収載希望締切日 (承認締切日)	収載品目数	備考
21: 5: 15 (21: 5: 15)	21: 2: 15 (21: 1: 15)	318 (363)	
21: 11: 13 (21: 11: 13)	21: 8: 15 (21: 7: 15)	394 (416)	
22: 5: 28 (22: 5: 28)	22: 2: 15 (22: 1: 15)	197 (249)	薬価全面改定 審査 22: 4: 15
22: 11: 19 (22: 11: 19)	22: 8: 15 (22: 7: 15)	414 (442)	
23: 6: 24 (23: 6: 24)	23: 2: 17 (23: 1: 17)	330 (415)	
23: 11: 28 (23: 11: 28)	23: 8: 15 (23: 7: 15)	521 (563)	

\* ( ) 書は収載希望品目数

## (参考)

## 1. 最近の後発医薬品等の動向

年 度	収載希望品目	収載品目	初めての後発医薬品			品目数20超(注2)			代替新規※	※以外
			成分	規格	品目	成分	規格	品目		
平成19年度 7月	439	420	19	49	237	1	1	1	48	372
平成19年度 11月	19	14	0	0	0	1	2	2	1	13
平成20年度 7月	505	463	18	29	260	1	1	1	24	439
平成20年度 11月	109	99	2	7	16	0	0	0	7	92
平成21年度 5月	363	318	13	23	119	0	0	0	40	278
平成21年度 11月	416	394	8	17	86	3	4	28	40	354
平成22年度 5月	249	197	5	12	37	1	2	4	37	160
平成22年度 11月	442	414	6	22	166	1	1	1	32	382
平成23年度 6月	415	330	4	7	87	2	4	4	34	296
平成23年度 11月	563	521	9	22	186	3	5	8	69	452

注1) 今回の収載希望品目 - 収載品目 = 42品目

内訳

収載希望の取り下げ	32品目
告示不要品目 (局方名収載等によるもの)	10品目

注2) 組成、剤形区分及び規格が先発医薬品と同じものが、既収載品と  
今回収載品を合わせて20品目を超えた後発医薬品で、最低価格  
×0.9の対象となったもの

## 2. 後発医薬品の収載状況 (成分数、規格数、品目数)

	内用薬	注射薬	外用薬	歯科用薬剤	合計
成 分 数 (初後発品)	84 ( 6 )	44 ( 2 )	11 ( 1 )	0 ( 0 )	135 ( 9 )
規 格 数 (初後発品)	139 ( 16 )	87 ( 5 )	13 ( 1 )	0 ( 0 )	239 ( 22 )
品 目 数 (初後発品)	369 ( 156 )	115 ( 10 )	37 ( 20 )	0 ( 0 )	521 ( 186 )

\* フアモチジン、ニカルジピン塩酸塩、アシクロビルは、「内」、「注」ともある

\* レボフロキサシン水和物は、「内」、「外」ともある

○後発医薬品が初めて収載され算定された品目

	成 分 数	規 格 数	品 目 数
内 用 薬	6 ( 3)	1 6 ( 4)	1 5 6 ( 5 2)
注 射 薬	2 ( 1)	5 ( 3)	1 0 ( 3 5)
外 用 薬	1 ( 0)	1 ( 0)	2 0 ( 0)
合 計	9 ( 4)	2 2 ( 7)	1 8 6 ( 8 7)

注) ( ) 内は平成23年6月収載時の数

**平成23年11月後発医薬品収載 品目数上位成分一覧表**

順位	区分	成分名	先発品及び会社名	規格単位	品目数	備考
1	内	塩酸ドネペジル その他の中枢神経系用薬(119)	エーザイ アリセプト錠3mg* アリセプトD錠3mg* アリセプト錠5mg* アリセプトD錠5mg* アリセプト細粒0.5%*	3mg1錠 3mg1錠 5mg1錠 5mg1錠 0.5%1g 計	25 24 25 24 3 101	初後発 収載会社数30社
2	内	ロラタジン その他のアレルギー用薬(449)	MSD クラリチン錠10mg クラリチンレディタブ錠10mg クラリチンドライシロップ1%	10mg1錠 10mg1錠 1%1g 計	16 19 3 38	初後発 収載会社数22社
3	外	レボフロキサシン水和物 眼科用剤(131)	参天製薬 クラビット点眼液0.5%*	0.5%1mL 計	20 20	初後発 収載会社数20社
4	内	アレンドロン酸ナトリウム水和物 他に分類されない代謝性医薬品(399)	MSD フォサマック錠5/ボナロン錠5mg フォサマック錠35mg/ボナロン錠35mg	5mg1錠 35mg1錠 計	3 7 10	収載会社数7社
5	内	メシリ酸ドキサゾシン 血圧降下剤(214)	ファイザー カルデナリン錠0.5mg カルデナリン錠4mg	0.5mg1錠 4mg1錠 計	7 7 14	収載会社数7社
6	内	リセドロン酸ナトリウム水和物 他に分類されない代謝性医薬品(399)	味の素製薬/武田薬品工業 アクトル錠2.5mg/ベネット錠2.5mg	2.5mg1錠 計	11 11	収載会社数11社
7	内	シンバスタチン 高脂血症用剤(218)	MSD リポバス錠5 リポバス錠10 リポバス錠20	5mg1錠 10mg1錠 20mg1錠 計	2 5 5 12	収載会社数6社
8	内	グリメピリド 糖尿病用剤(396)	サンofi・アベンティス アマリール0.5mg錠 アマリール1mg錠* — アマリール3mg錠* —	0.5mg1錠 1mg1錠 1mg1錠 3mg1錠 3mg1錠 計	3 3 1 3 1 11	(OD錠) (OD錠) 収載会社数6社
9	内	アトルバスタチンカルシウム水和物 高脂血症用剤(218)	アステラス製薬 リピトール錠5mg リピトール錠10mg	5mg1錠 10mg1錠 計	5 5 10	初後発 収載会社数5社
9	注	エボプロステノールナトリウム その他の循環器官用薬(219)	グラクソ・スミスクライン 静注用フローラン0.5mg* 静注用フローラン0.5mg* 静注用フローラン1.5mg* 静注用フローラン1.5mg* エボプロステノールナトリウム専用溶解液 静注用フローラン専用溶解液*	0.5mg1瓶 0.5mg1瓶(溶解液付) 1.5mg1瓶 1.5mg1瓶(溶解液付) 50mL1瓶 計	2 2 2 2 2 10	初後発 収載会社数2社

\* 本剤は新薬創出等加算対象品目である

**平成23年11月後発医薬品収載 初後発一覧**

No.	区分	成分名	規格単位	品目数	収載社	先発品	先発会社	申請会社名
1	内	塩酸ドネペジル	3mg1錠 3mg1錠 5mg1錠 5mg1錠 0.5%1g	25 24 25 24 3	25 24 25 24 3	アリセプト錠3mg* アリセプトD錠3mg* アリセプト錠5mg* アリセプトD錠5mg* アリセプト細粒0.5%*	エーザイ	大原薬品工業、救急薬品工業、共和薬品工業、キヨーリンリメディオ、寿製薬、沢井製薬、サンド、シオノケミカル、全星薬品工業、第一三共エスファ、大正薬品工業、ダイト、大日本住友製薬、大洋薬品工業、高田製薬、辰巳化学、田辺三菱製薬、鶴原製薬、東和薬品、日医工、日医エフアーマ、日新製薬、ニプロファーマ、日本ケミファ、日本ジェネリック、ビオメディクス、富士フィルムファーマ、マイラン製薬、Meiji Seikaファルマ、陽進堂
2	内	ロラタジン	10mg1錠 10mg1錠 1%1g	16 19 3	16 19 3	クラリチン錠10mg クラリチンレディタブ錠10mg クラリチンドライシロップ1%	MSD	あすか製薬、エルメッド エーザイ、救急薬品工業、共和薬品工業、キヨーリンリメディオ、興和テバ、小林化工、沢井製薬、大興製薬、大正薬品工業、ダイト、辰巳化学、長生堂製薬、東和薬品、日医工、日医エフアーマ、日新製薬、ニプロファーマ、日本ジェネリック、ファイザー、富士フィルムファーマ、マイラン製薬、陽進堂
3	内	アトルバスタチンカルシウム水和物	5mg1錠 10mg1錠	5 5	5 5	リピトール錠5mg リピトール錠10mg	アステラス製薬	エルメッド エーザイ、小林化工、沢井製薬、サンド、東和薬品
4	内	塩酸ペロスピロン水和物	4mg1錠 8mg1錠 16mg1錠	1 1 1	1 1 1	ルーラン錠4mg* ルーラン錠8mg* ルーラン錠16mg*	大日本住友製薬	共和薬品工業
5	内	ナテグリニド	30mg1錠 90mg1錠	1 1	1 1	ファスティック錠30* / スターシス錠30mg* ファスティック錠90* / スターシス錠90mg*	味の素製薬/アステラス製薬	マイラン製薬
6	内	エキセメスタン	25mg1錠	2	2	アロマシン錠25mg*	ファイザー	日本化薬、マイラン製薬
7	注	エポプロステノールナトリウム  エポプロステノールナトリウム専用溶解液	0.5mg1瓶 0.5mg1瓶(溶解液付) 1.5mg1瓶 1.5mg1瓶(溶解液付) 50mL1瓶	2 2 2 2 2	2 2 2 2 2	静注用フローラン0.5mg* 静注用フローラン0.5mg* 静注用フローラン1.5mg* 静注用フローラン1.5mg* 静注用フローラン専用溶解液*	グラクソ・スミスクライン	大洋薬品工業、富士製薬工業
8	外	レボフロキサシン水和物	0.5%1mL	20	20	クラビット点眼液0.5%*	参天製薬	大原薬品工業、キッセイ薬品工業、共和薬品工業、キヨーリンリメディオ、興和、大正薬品工業、ダイト、高田製薬、長生堂製薬、ティカ製薬、東亜薬品、東和薬品、日医工、日新製薬、日東メティック、日本ジェネリック、日本点眼薬研究所、マイラン製薬、陽進堂、わかもと製薬

\* 本剤は新薬創出等加算対象品目である

薬効別収載品目数(全体)

薬効番号	薬効分類	内用薬	注射薬	外用薬	歯科用薬剤	合計
111	全身麻酔剤		1			1
112	催眠鎮静剤、抗不安剤	13	1			14
114	解熱鎮痛消炎剤	2		2		4
117	精神神経用剤	15				15
119	その他の中枢神経系用剤	101	1			102
121	局所麻酔剤			2		2
124	鎮けい剤	1				1
131	眼科用剤			30		30
211	強心剤	1				1
212	不整脈用剤	2				2
213	利尿剤	1	2			3
214	血圧降下剤	32	3			35
217	血管拡張剤	9	1			10
218	高脂血症用剤	27				27
219	その他の循環器官用薬	6	13			19
223	去たん剤	3				3
225	気管支拡張剤	2				2
231	止しや剤、整腸剤	2				2
232	消化性潰瘍用剤	14	5			19
235	下剤、浣腸剤	1				1
239	その他の消化器官用薬	8	1			9
245	副腎ホルモン剤			4		4
249	その他のホルモン剤（抗ホルモン剤を含む）	1	3			4
259	その他の泌尿生殖器官及び肛門用薬	7				7
261	外皮用殺菌消毒剤			2		2
264	鎮痛、鎮痙、収斂、消炎剤			1		1
313	ビタミンB剤（ビタミンB <sub>1</sub> 剤を除く）	1				1
323	糖類剤		4			4
331	血液代用剤			9		9
333	血液凝固阻止剤	1	2			3
339	その他の血液・体液用薬	4				4
342	腹膜透析用剤			3		3
392	解毒剤			1		1
394	痛風治療剤	3				3
396	糖尿病用剤	20				20
399	他に分類されない代謝性医薬品	22	7			29
422	代謝拮抗剤			2		2
424	抗腫瘍性植物成分製剤			4		4
429	その他の腫瘍用薬	5	3			8
442	刺激療法剤	1				1
449	その他のアレルギー用薬	51				51
611	主としてグラム陽性菌に作用するもの			8		8
613	主としてグラム陽性・陰性菌に作用するもの	3	27			30
621	サルファ剤	1				1
624	合成抗菌剤	4				4
625	抗ウイルス剤	4	1			5
711	賦形剤	1				1
721	X線造影剤			5		5
729	その他の診断用薬（体外診断用医薬品を除く。）			4		4
	合計	369	115	37	0	521